

# 水産庁

プレスリリース

平成26年9月1日  
水産庁

## 「2014年IWC/日本共同北太平洋鯨類目視調査」の結果について

我が国と国際捕鯨委員会(IWC)が共同で北太平洋海域において実施していた鯨類目視調査が8月30日(土曜日)に終了しました。

### 1. 調査の目的

本調査は、国際捕鯨委員会(IWC(注1))の太平洋鯨類生態系調査プログラム(IWC-POWER(注2))に基づき、北太平洋海域の鯨類の資源状況を把握することを目的に、我が国とIWCが共同で実施しているものです。

2010年から実施しており、今回が5回目の調査となります。

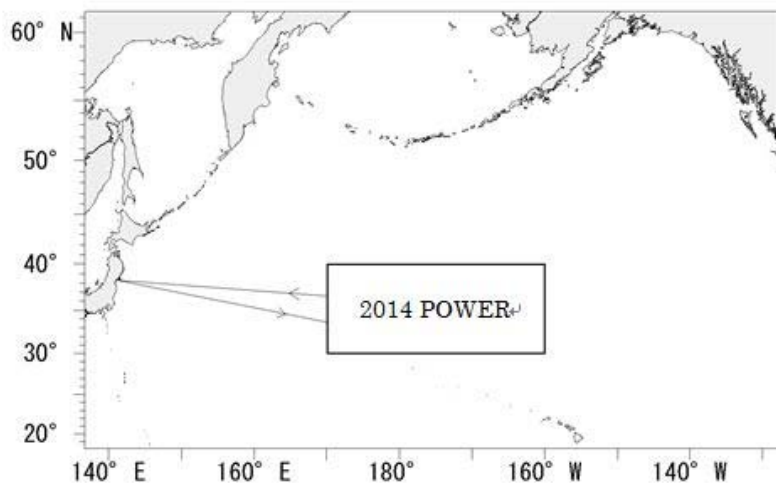
(注1)IWC:International Whaling Commission

(注2)POWER:Pacific Ocean Whale and Ecosystem Research

### 2. 調査の概要

(1)調査期間 平成26年7月2日(水曜日)～8月30日(土曜日)

(2)調査海域 北太平洋海域(公海及び米国の排他的経済水域):下図の線で囲まれた海域



(3)調査委託機関 一般財団法人 日本鯨類研究所

(4)調査船 第三勇新丸(総トン数742トン)

調査船には、日本人2名、アメリカ人1名、イギリス人1名の合計4名の鯨類研究者が乗船し、調査に当たりました。

(5)調査内容

ニタリクジラ、イワシクジラ、ナガスクジラ及びその他の鯨類の資源量推定

ニタリクジラ、イワシクジラ、ナガスクジラ、ザトウクジラ、マッコウクジラ等の系群構造に関する情報の収集(特にバイオプシー・サンプル(注3)採集と個体識別写真の取得)

北太平洋セミクジラ、シロナガスクジラ等稀少鯨種のバイオプシー・サンプル採集と個別識別写真の取得

(注3)生体組織標本(具体的には鯨類の皮膚の小片)

### 3. 結果概要

(1)主な発見鯨種は、シロナガスクジラ(1群1頭)、イワシクジラ(1群1頭)、ニタリクジラ(118群140頭)、マッコウクジラ(78群155頭)、シャチ(1群3頭)、ハナゴンドウ(8群140頭)、スジイルカ(5群420頭)、マダライルカ(6群436頭)、マイルカ(42群1,747頭)でした。

これらの情報は、鯨類の資源量推定に役立てられます。

(2)シロナガスクジラ1頭、ニタリクジラ78頭、シャチ1頭からバイオプシー・サンプルを採取しました。

これらのサンプルは、各鯨種の系群構造の解明に役立てられます。

(3)シロナガスクジラ1頭、ニタリクジラ78頭、シャチ1頭の個体識別写真を撮影しました。

これらの写真は、各鯨種の回遊生態や生活史の解明に役立てられます。

#### 4. 参考

平成26年7月2日付けプレスリリース「2014年IWC/日本共同北太平洋鯨類目視調査」の実施について

<http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/enyou/140702.html>

#### — お問い合わせ先 —

資源管理部国際課  
担当者: 捕鯨班 坂本、岡添  
代表: 03-3502-8111 (内線6762)  
ダイヤルイン: 03-3502-2443  
FAX: 03-3504-2649

[ページトップへ](#)

Copyright:2007 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(代表)

水産庁